

来たるべき民主主義の可能性を探る

カール・シュミットから民主主義を考え直す

日時：2013年7月19日（金） 16:30～18:30

会場：甲南大学18号館 3階講演室

講師：港道 隆（甲南大学／哲学）

企画：港道 隆（甲南大学／哲学）

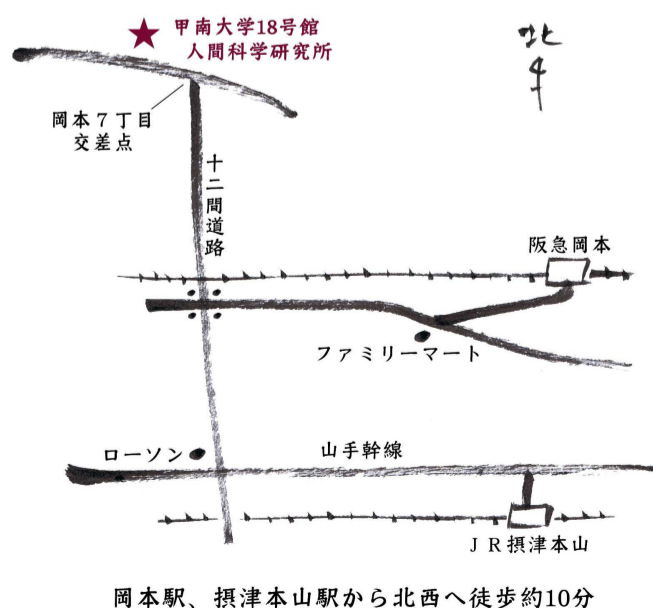
企画趣意

カトリック保守主義の思想家であるワイマール期の法学者であり政治思想家である、「魔性の政治学」と評されるカール・シュミットの議論を潜ることによって、主権の概念と物という政治的発想の前提を問い直し、民主主義の可能性を探る。「魔性の政治学」といわれるのは、カトリック神学に基づいた「独裁」を支持するにもかかわらず、一定範囲で「プロレタリア独裁」をも肯定するからである。今日でも、「独裁」と民主主義の関係は問われ続けられなくてはならない、それが私の懸念である。

講師紹介 港道 隆（みなとみち・たかし） 甲南大学文学部人間科学科 教授

1953年生。パリ第一大学博士課程修了。哲学（博士）。

単著に、『メルロ＝ポンティ』（共著、岩波書店、1983年）、『レヴィナス』（単著、講談社、1997年）、訳書にジャック・デリダ『精神について』（人文書院、1990年）、『アポリア』（人文書院、2000年）など多数。



参加無料・申込不要

甲南大学
人間科学研究所
Konan Institute of Human Sciences
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
Tel/Fax: 078-435-2683
E-mail: kihs@center.konan-u.ac.jp
URL: <http://kihs-konan-univ.org>